

令和6年度 相模原市保育者ステップアップ研修

研修のしおり



令和6年3月

主催：相模原市 こども・若者未来局 保育課

目 次

目 次.....	1
相模原市保育者ステップアップ研修とは.....	2
相模原市保育者ステップアップ研修実施要項.....	3
1 研修体系.....	4 - 5
2 研修の活用.....	6 - 7
3 研修内容 シラバス.....	8 - 24
4 研修講座一覧.....	25 - 27
5 研修の計画・受講申請・修了までの流れ.....	28 - 32
6 電子申請方法	33 - 36
7 参考資料	
オンライン接続方法	37 - 39
キャリアアップ研修振り返りレポートの書き方.....	40
8 会場案内図.....	41

相模原市保育者ステップアップ研修は

相模原市の子どもたちのために

保育者が自らの学びを広げ、深め、実践し、振り返りながら
教育・保育の専門性の向上と質を高めていくことを目指します。

そして

自らの夢をふくらませ、夢に向かって挑戦する子どもを
育てていくことを目指して市が主催して取り組む研修です。

相模原市は「自らの夢をふくらませ、夢に向かって挑戦する子ども」
を育てる幼児教育・保育を目指します。



私たちは、相模原市の子どもたちに、夢を持ち、夢に向かって進む力を持てるようになりたいと願っています。夢を持つことも、夢の実現に向かって挑戦することも自分に自信を持ち、自己肯定感を持つことが重要です。

それは、安心・安全な環境の下で、乳幼児期からの身近な大人や友達との関わり、豊かな遊びや生活の体験を通して育まれます。

そして、子どもの思いに大人が気づき、理解し、見守り、愛情を持って関わることで、子どもの興味はますます広がっていきます。広がった興味は、やがて、子どもの夢に向かった一歩に繋がっていきます。

こうした子どもの育ちを保障するためには、子育てに関わる保育者(園)、保護者、地域、行政がお互いを信頼し、協力し合って取り組むことが大切です。

そこで、私たちは、相模原市の子育て支援施策の基本となる「相模原市子ども・子育て支援事業計画」の基本理念に基づいて、子どもを中心とした視点で意見を出し合いながら、議論を行い、この「相模原市幼児教育・保育ガイドライン」を策定しました。

行政は、自らの幼児教育・保育の分野における運営の指針とし、教育・保育施設は、よりよい幼児教育・保育のための指針としていきます。そして、私たちはこのガイドラインを、相模原市のすべての市民が本市の子育ての目指す方向を分かち合うために活用して頂くことを願っています。

「相模原市幼児教育・保育ガイドライン」より
(相模原市子ども・子育て会議 平成31年3月策定)

令和6年度相模原市保育者ステップアップ研修実施要項

1 研修の目的

相模原市子ども・子育て支援事業計画の基本理念「子どもの夢 輝く みんなでつながりあうまち さがみはら」の実現に向け、基本方針 の基本目標2、施策の方向(3)「就学前の子どもに対する教育・保育の充実」及び相模原市幼児教育・保育ガイドライン「自らの夢をふくらませ、夢に向かって挑戦する子ども」に基づき、市内の保育所、幼稚園、認定こども園等に勤務する保育士、幼稚園教諭、保育教諭等の資質向上を図る。

2 主 催

相模原市 こども・若者未来局 保育課

3 対 象

市内の保育所・幼稚園・認定こども園・小規模保育・家庭的保育・事業所内保育・認定保育・認可外保育に勤務する保育士・幼稚園教諭・保育教諭（以下「保育者」とする）及び職員の希望する者

4 内 容

キャリアステージや職に応じた保育者の資質向上を図るために、次の研修を実施する。

(1) 一般研修（キャリアステージに応じた内容の研修）

ステップ1

基礎研修

ステップ2

保育実践・実技研修 中堅研修 期

中堅研修 期 1年目 2年目 3年目フォローアップ

ステップ3

管理職研修

(2) 専門研修（保育実践や保育の専門性に特化した研修）

キャリアアップ研修

国が示すガイドラインに基づく研修 7分野

指定者研修

支援保育コーディネーター研修（基礎編・発展編）

幼保小連携研修 医療的ケア児支援研修

5 実施方法

- (1) 保育士・幼稚園教諭・保育教諭の合同研修を基本としながら、(一社)相模原市幼稚園・認定こども園協会、相模原市保育園・認定こども園園長会等と協力した研修も実施し、多様な学びが得られるようにする。
- (2) 研修の実施にあたっては、講義、演習、グループ協議等組み合わせることで、受講者がより主体的に知識や技能を習得し、実践に生かせるよう工夫する。
- (3) 公開保育を積極的に取り入れ、理論に基づいたよりよい実践について語り合える風土の構築を目指す。
- (4) 相模原市の独自の幼児教育・保育の課題解決や時代の変化に応じた研修内容への改善に向けての検討会で検討を行い、研修内容の更なる充実を図る。

一般研修 各園の研修計画・職員体制に合わせて選択して下さい

ステップ1

基礎研修 【新任・復職保育者、新任管理職、基礎を学びたい方のための講座】

- 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解
- 相模原市幼児教育・保育ガイドラインの理解と活用 ○語り合おう～保育者になって～
- 保育者としての心構え ○乳幼児の事故や疾病への対応
- 子どもの権利・人権の尊重、児童虐待の理解と対応○配慮を要する乳幼児の理解
- アレルギー疾患の理解と対応○主体的な遊びの重要性○食育の理解と実践

ステップ2

保育実践・実技研修 【実践力をつけていくために理論に基づく実践・実技を学び資質を向上する講座】

- 自然を使って遊ぼう ○子どもの世界が広がる絵本の読み聞かせ（新）

中堅研修 期 【保育者としての専門性やリーダー性を高め指導力の向上を図る】

- ミドルリーダーとして大切にしたいこと ○次世代の保育者を育てるには【3回シリーズ】
- 乳幼児理解と指導計画【2回シリーズ・往還型研修】
- 子ども理解を深め明日の保育に生かす記録

中堅研修 期1年目 【園内研修推進者(ファシリテーター)を育成する講座1年目】

- ミドルリーダーの役割 ○語り合うための土台 ○子どもを語る・写真(映像)で語る
- 公開保育・協議参加

中堅研修 期2年目 【園内研修推進者(ファシリテーター)を育成する講座2年目】

- 園内研修の意義と進め方 ○園内研修実践の振り返り
- 自園内公開保育・協議 ○2年間のまとめ、今後の役割

中堅研修 期3年目 【園内研修推進者(ファシリテーター)を育成する講座3年目】

- グループ協議のファシリテーターをしよう ○3年目フォローアップ講座

ステップ3

管理職研修 【園長・副園長・主任等、園経営能力アップにより保育の質の向上を図る講座】

- 「組織を育てる上での主任・ミドルリーダーの役割の重要性」
- 「保育の質の向上を目指した園マネジメント」
- 「これからの園に求められるリスクマネジメント」(新)

専門研修

キャリアアップ研修

乳児保育に関する研修

(1 5 時間)

- 乳児保育の意義 ○乳児への適切な関わり
- 乳児の発達に応じた保育内容 ○乳児保育の環境 ○乳児保育の指導計画、記録及び評価

幼児教育に関する研修

(1 5 時間)

- 幼児教育の意義 ○幼児教育の環境 ○幼児の発達に応じた保育内容
- 幼児教育の指導計画、記録及び評価 ○小学校との接続

障害児保育・特別支援教育に関する研修(1 5 時間)

- 障害児保育の理解と環境 ○障害のある子どもの理解
- 関係機関との連携 ○障害児の発達と援助 ○障害児保育の指導計画、記録及び評価

食育・アレルギー対応に関する研修

(1 5 時間)

- アレルギー疾患の理解と保育所におけるアレルギー対応ガイドライン○アレルギーに関する知識と現場の対応
- 栄養に関する基礎知識 ○保育所における食事の提供ガイドライン ○食育計画の作成と活用

保健衛生・安全対策に関する研修

(1 5 時間)

- 小児の発育・発達の理解と個別的な配慮を必要とする子どもへの対応 ○保健計画の作成と活用
- 災害対策 ○保育所における感染症対策ガイドライン ○事故防止及び健康安全管理
- 教育、保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン

保護者支援・子育て支援に関する研修 (1 5 時間)

- 保護者支援・子育て支援の意義 ○保護者に対する相談援助
- 虐待予防 ○関係機関との連携、地域資源 ○地域における子育て支援

マネジメントに関する研修

(1 5 時間)

- マネジメントの理解 ○リーダーシップ ○組織目標の設定 ○働きやすい環境づくり ○人材育成

指定者研修

支援保育コーディネーター研修 【基礎編・発展編】

- 基礎編～○関係機関との連携 ○子ども理解と配慮 ○幼保小中の連携による支援(2 回)
- 保護者支援の実践 ○指導計画・記録及び評価
- 発展編～○幼保小中の連携による支援(2 回) ○選択研修 1 講座

幼保小連携研修

- 幼保小の協働による架け橋期の教育の充実について(2 回)

医療的ケア児支援研修

- 医療的ケア児の生活と看護

2 研修の活用 ～園の方針・体制に合わせて活用しよう！～

市内で受講できる教育・保育専門研修

- * 市内の保育者が一緒に学び合う機会です。
- * 講義の他、協議や演習を通して、参加者の情報の共有・意見交換により、新たな気づきや発見ができます。



講義の他、演習や協議の中で、講師から直接指導を受けることもできます。



園の体制に合わせて研修計画を立案

- * 職員の経験・技術・強み・年齢・希望に合わせて
- * 園の行事や力を入れている取組にに応じて
- * キャリアアップと処遇改善加算 を関連させて

園のマネジメントとして、研修計画を計画的に立案していくことも必要です。

一般研修ステップ1・2・3

- * ステップ1は基礎研修です。
初任者から新任園長、保育の復帰者、基礎を学びたい方など、どなたでも1講座から受講可能です。
- * ステップ2は実践・実技研修と中堅研修です。実践・実技研修は保育の楽しさを感じ、中堅研修では専門技術や保育のヒントを習得しましょう。
- * 中堅研修 期は、1回完結の研修、「講義→園実践→協議・講義→園実践」の往還型の研修、保育実習指導について学ぶ3回シリーズの研修があり、受講者のニーズに合わせて1講座ずつ受講できます。
- * 中堅研修 期は2年間のシリーズ講座です。園内研修や公開保育を通して、園内研修推進者、ファシリテーターを育成します。園の保育の質の向上が期待できます。
- * ステップ3の管理職研修は管理職向けの研修です。園経営・マネジメント・人材育成・危機管理等を学びます。

キャリアアップ研修で専門性を向上

- * 7分野の研修は、それぞれ専門性に特化した内容です。
- * 中堅からベテラン、管理職、さまざまな職種が目的をもって受講しています。
- * 要領・指針を踏まえた内容をしっかりと学ぶことができます。
- * 協議はテーマに基づく保育の状況や課題を共有し合う良い機会ですので、積極的に発言してください。
- * 演習は実践力を試す場面です。積極的に取り組み、更に実践力を身に付けてください。
- * 全日程受講したら2週間以内にレポートを作成、提出して修了です。
年度末に修了証を発行します。



研修後は園内で共有を

- * 研修で感じたこと、園で実践したいこと、伝えたいことを自身で振り返りましょう。
- * 研修の内容を職員会議や園内研修で報告したり、職員掲示板など目立つ所に掲示したりし、職員間で共有しましょう。



基礎研修「語り合おう～保育者になって～」では、新任 1、2 年目の保育士が、中堅 期研修 3 年目の受講者にファシリテーターをしてもらい、語り合うことで、保育のヒントを得ることができました。

研修から自園の教育・保育へつなげる

- * 「自園の教育・保育は…」とイメージしながら受講することで、研修を実践につなげることができます。
- * 園の実践について協議する中で、他受講者から感想や意見をもらい、新しい気付きや、明日の教育・保育へのヒントを得ることができます。

指定者研修で役割の強化

- * 支援保育コーディネーターの役割（園内外の調整・相談役）や、支援を要する乳幼児への配慮について知識を得て、理解を深めましょう。
- * 地域の園・小・中学校とのつながりを深めていきましょう。
- * 実践につながる情報や方法を積極的に得て自園で取り組みましょう。



「乳児保育に関する研修」
往還型での学びと、各自のテーマに沿った自園での実践をまとめ、最終回にポスター発表をしました。



保育者の専門性から園全体の教育・保育の質の向上

- * 園の職員が様々な研修を受講し実践していくことで、様々な分野の専門性が園全体の専門性へとつながります。
- * 職員一人一人がお互いに支え合い、高め合っていく協働的な関係（＝同僚性）で取り組むことが、園全体の教育・保育の質のさらなる向上へとつながります。



ファシリテーターを育成する中堅研修 期。2 年目の受講者は自園で公開保育を行い、また他園の公開保育を参観する中で、他園の保育から学んだり、自園の保育を見つめ直したりすることができます。ファシリテーターとしてのスキルアップと、保育の質の向上につながります。

保育者のやる気・自信・誇りに

- * 日頃の教育・保育の現場から離れて、**落ち着いた環境で学ぶ機会**として...
- * 子どものことを思い浮かべながら、新たな知識を得ることで、**やる気の源**に...
- * 日頃の教育・保育を発表、発言することで得られる他者の感想や意見が**自信**へ...
- * 全日程を学んだという**充実感**へ...
保育者のモチベーションアップにつながります。

3 研修内容 シラバス

一般研修

講座区分	講座名						
ステップ1	基礎研修						
対象	保育士・幼稚園教諭・保育教諭・栄養士・調理員・看護師等						
目的	保育士・幼稚園教諭・保育教諭としての職務を遂行するために必要な事項に関して、基礎的な理解を図る。						
実施日時	場所	内容	講師	定員	研修コード	研修HBコード	合同研修の有無
講義・協議「保育者としての心構え」 保育者としての心構えを学び、今後の保育に活かしましょう！							
5月21日(火) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	保育者としての基本的な知識や心構え、子どもや保護者や職員と、どのようにコミュニケーションをとり、関係性を築いていけばよいか等について学びます。	相模女子大学 学芸学部 子ども教育学科 准教授 金元 あゆみ	150	Ak1	B4	
講義・協議「配慮を要する乳幼児の理解」 子どもの姿を理解して、援助に活かしていきましょう！							
6月11日(火) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	具体的な場面における乳幼児の姿をどのように理解し、援助すればよいかを学びます。	相模女子大学 人間社会学部 人間心理学科 教授 日戸 由刈	150	Ak4	D1	支援 コ
講義「アレルギー疾患の理解と対応」 食事の提供とアレルギーについて正しい知識を！							
9月25日(水) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 第2中会議室)	アレルギー疾患に関する知識と食物アレルギーのある子どもへの食事の提供について学びます。	十文字学園女子大学 人間生活学部 健康栄養学科 准教授 林 典子	150	Ak6	A2	
講義「食育の理解と実践」 食育の目的等を現場目線で学びます！							
10月3日(木) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 第2中会議室)	食育のねらいや内容、実践のポイントについて理解を深めます。	相模女子大学 栄養科学部 健康栄養学科 特任教授 堤 ちはる	150	Ak5	A2	
講義・協議「相模原市幼児教育・保育ガイドラインの理解と活用」 自ら夢をふくらませ、夢に向かって挑戦する子どもに！							
10月8日(火) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	相模原市幼児教育・保育ガイドラインを理解し、教育・保育の現場での活用を学びます 持ち物：相模原市幼児教育・保育ガイドライン	東京都市大学 人間科学部人間科学科 准教授 園田 巖	150	Ak7	C3	

講義「主体的な遊びの重要性」 主体的な遊びと保育者の関わりについて学びましょう							
10月24日(木) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	主体的な遊びの重要性について、遊びの中での子どもの学びや育ちを学びます。	玉川大学教育学部 教育学科 教授 田澤 里喜	150	Ak3	E4	
講義・協議「語り合おう～保育者になって～」 語り合うことから明日へのヒントが… ※新任1.2年目の保育者対象です							
10月31日(木) 10:00～12:00	産業会館 大研修室	中堅Ⅱ期研修3年目の受講者にファシリテーターをしてもらい語り合う中で、自分の考えや思いを整理し、明日への意欲につなげます。	大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授 岡 健	50	Ak8	B6	中堅Ⅱ 期研修 3年目
講義「幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解」 教育・保育の基本です							
11月22日(金) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深めます。 持ち物: 自園の指針・要領及び解説	鶴見大学短期大学部 教授 天野 珠路	150	Ak10	C3	
講義・演習「乳幼児の事故や疾病への対応」 安全な環境とは何かを理解し現場へ生かそう！							
11月29日(金) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	安全な教育・保育環境を確保するための配慮について学びます。	神奈川県立保健福祉大学 看護学科 教授 臺 有桂	150	Ak9	A3	
講義「子どもの権利・人権の尊重、児童虐待の理解と対応」 虐待事例を通して学びます！							
1月16日(木) 17:00～19:00	オンライン (市民会館 講習室)	子どもの権利・人権尊重について理解し、児童虐待の対応、不適切な保育について学びます。	武庫川女子大学 文学部 心理・社会福祉学科 教授 倉石 哲也	150	Ak11	A1	
「給食の提供における衛生管理」							
ご案内 『給食の提供における衛生管理』について、ステップアップ研修での実施は終了します。 保健所が実施している食品衛生責任者実務講習会(「相模原市 食品 講習会」で検索)をご案内いたしますので、ご受講くださるようお願いいたします。							

一般研修

講座区分	講座名
ステップ2	保育実践・実技に関する研修
対象	保育士・幼稚園教諭・保育教諭等
目的	保育者の専門性を高め、実践課題を明確にし、保育者が主体的に様々な遊びと環境に通じる保育の展開を行うために必要な能力や日々の保育の実践に必要な基礎的知識・技術を身に付け、資質の向上を図る。

No.	実施日時	場所	内容	講師	定員	研修コード	研修HBコード
講義・演習「自然を使って遊ぼう」 ～身近な公園の自然物を使って遊びをどのように仕掛けていくか～							
10月25日(金) 14:00～16:00	サン・エール さがみはら 多目的室 橋本公園	身近な自然に触れ、諸感覚を働かせて遊ぶ体験を通して、「自然との関わり」について、知識・技術を学びます。 【持ち物】 動きやすい服装・靴 雨天時:カッパ ①バンダナ ②敷物 ③筆記用具	日本シェアリングネイチャー協会 トレーナー 岡田 彰	60	Aa1	E2	

講義・演習「子どもの世界が広がる絵本の読み聞かせ」 ～子どもの心を育む読み聞かせとは～						
11月15日(金) 15:00～17:00	市民会館 第2大会議室	読み聞かせによる子どもの心の育ち、絵本の選び方や読み聞かせのポイント等、理論と実践を交えて学びます。	絵本専門士 野田 英里	50	Aa2	B3

一般研修

講座区分	講座名
ステップ2	中堅研修Ⅰ期 ※1講座ごとの申し込みが必要です。
対象	保育士・幼稚園教諭・保育教諭
目的	保育士・幼稚園教諭・保育教諭としての専門性やリーダー性を高め、全園的な視野に立ち指導的な立場で園経営に参画できる資質・指導力の充実を図る。

実施日時	場所	内容	講師	定員	研修コード	研修HBコード
講義・協議「ミドルリーダーとして大切にしたいこと」						
6月20日(木) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 第1大会議室)	主体的な保育について学ぶとともに、ミドルリーダーの役割について学びます。	玉川大学教育学部 教育学科 教授 田澤 里喜	150	Ta1	B6

講義・協議「次世代の保育者を育てるには」 実習生受入れに関する研修(3回シリーズ)							
講義・協議「保育実習の意義」					80	Ta2	B6
1	5月24日(金) 15:00～17:00	市民会館 第2大会議室	保育実習の目的・意義とともに、実習生の成長や実習園の質の向上につながる保育実習について学びます。	湘南ケアアンドエデュケーション研究所 所長 増田 まゆみ			
講義・協議「養成校との連携・協働」							
2	6月21日(金) 15:00～17:00	市民会館 第2大会議室	養成校と学生の現状を理解するとともに、養成校と保育所等の連携・協働について学びます。	和泉短期大学 児童福祉学科 教授 山本 美貴子			
講義・協議「保育実習指導及び、記録と振り返り」							
3	7月10日(水) 15:00～17:00	市民会館 第2大会議室	子ども理解を深める保育実習の指導や、記録と振り返りのポイントについて学びます。	相模女子大学学芸学部 子ども教育学科 准教授 浅見 佳子			

講義・演習「子ども理解を深め明日の保育に生かす記録」						
8月21日(水) 15:00～17:00	市民会館 第1大会議室	日々の保育の改善につながる保育記録の書き方について、講義や演習を通して学びます。	武蔵野大学 教育学部 幼児教育学科 教授 箕輪 潤子	120	Ta3	E6

※裏面に続きます。

No.	実施日時	場所	内容	講師	定員	研修コード	研修HB コード
講義・協議「乳幼児理解と指導計画」(2回シリーズと園内実践)							
1	9月17日(火) 15:00～17:00	産業会館 中研修室	乳幼児理解と指導計画① 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく週日案等計画の立て方のポイントについて学びます。 【持ち物】 ・保育所保育指針、幼稚園教育要領、 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (自園の所属のもの)	和泉短期大学 児童福祉学科 教授 松山 洋平	45	Ta4	D2
園内 実践	1回目と2回目の 間に各園で実 施	各所属園	～園内実践～ 園内で保育を公開し、自園の先生と協議を行い、実践報告書を作成します。 ※実践報告書については、第1回の講座の中で説明します。	各所属園園長・副園長 主任等			B5
2	1月28日(火) 15:00～17:00	産業会館 中研修室	乳幼児理解と指導計画② 実践してきたことをもとにグループ協議を行い、保育の改善に生かします。 【持ち物】 ・保育所保育指針、幼稚園教育要領、 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (自園の所属のもの) ・実践報告書 2部(1部提出)	和泉短期大学 児童福祉学科 教授 松山 洋平			E7

一般研修

講座区分		講座名				定員	
ステップ2		中堅研修Ⅱ期 1年目（園内研修推進者育成Ⅰ）				30名	
対象		園長・施設長等が推薦する保育士・幼稚園教諭・保育教諭					
目的		保育士・幼稚園教諭・保育教諭としての専門性やリーダー的資質を高め、全園的な視野に立ち、指導的な立場で園経営に参画できる資質・指導力の充実を図る。					
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	合同研修の有無
1	5月14日(火) 10:00～12:30 13:30～16:00	産業会館 大研修室	午前:組織を育てる上での主任・ミドルリーダーの役割の重要性(管理職研修合同) 午後:子どもを語る・写真(映像)で語るⅠ(吹き出し)	大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授 岡 健	Tb1	B6	管理職研修
2	6月4日(火) 10:45～12:45	市民会館 第1大会議室	子どもを語る・写真(映像)で語るⅡ 中堅研修Ⅱ期(2年目)と合同 ほのちゃんDVD(文殊MAP)			D2	中堅Ⅱ期 2年目
3	7月16日(火) 10:00～16:00	産業会館 中研修室	午前:子どもを語る・写真(映像)で語るⅢ (ほのちゃんDVDを用いての解題 ／保育の構造と専門性の理解) 午後:語り合うための土台Ⅰ 「田の字」法を経験して現状をアセスメントする			E6	
4	9月10日(火) 10:00～16:00	産業会館 中研修室	午前:語り合うための土台Ⅱ ～自園の園内研修状況をアセスメントする～ 午後:子どもを語る・写真(映像)で語るⅣ ～「お便り／ポートフォリオ」づくりを通して考える～			E6	
5	11月6日(水) 9:30～16:00	公開園 (5月頃決定予定)	公開保育・協議参加 ※受講者はいずれかの園の公開保育・協議に参加			B2	
	11月19日(火) 9:30～16:00		【持ち物】上履き・外靴入れ・名札・履修カード・バインダー			B2	
6	2月3日(月) 10:00～12:00	産業会館 中研修室	公開保育後の取組と次年度への課題		E7		

講座区分		講座名				定員	
ステップ2		中堅研修Ⅱ期 2年目（園内研修推進者育成Ⅱ）					
対象		中堅研修Ⅱ期1年目受講者					
目的		保育士・幼稚園教諭・保育教諭としての専門性やリーダー的資質を高め、全園的な視野に立ち、指導的な立場で園経営に参画できる資質・指導力の充実を図る。					
回	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	合同研修の有無
1	6月4日(火) 10:00～16:00	市民会館 第1大会議室	園内研修の意義と進め方 ～ミーティングファシリテーションの理解～ 午前:事前ガイダンス(2年目のみ) 中堅研修Ⅱ期(1年目)と合同 ほのちゃんDVD 午後:ファシリテーションの振り返り(2年目のみ) 【課題】2回目までに田の字ワークを用いて園の課題を明確にし、園内研修の計画書を提出	大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授 岡 健	Tb2	D2	中堅Ⅱ期 1年目
2	7月26日(金) 10:00～16:00	産業会館 中研修室	園内研修実践の振り返りⅠ 午前:進捗状況報告とクリニック 午後:子どもを語る・写真(映像)で語るⅤ ～「SICS／ランキング」を通して考える～ 【持ち物】園内研修計画書・自園内公開保育日程表			E5	
3	9月6日(金) 10:00～16:00	産業会館 中研修室	園内研修実践の振り返りⅡ 午前:第2回後の園の取組 自園内公開保育の具体的計画や取組状況の開示 午後:子どもを語る・写真(映像)で語るⅥ ～「お便り／ポートフォリオ」を作成させてみて～ 【持ち物】自園内公開保育案内通知			E5	
4	9月中旬～12月	各園	自園内公開保育・協議 【課題】各自1園は他園の公開保育を参観			B2	
5	2月18日(火) 10:00～12:00	産業会館 中研修室	2年間のまとめ、今後の役割 【持ち物】自園内公開保育の様子や協議の様子が分かる資料			E7	

一般研修

講座区分		講座名				定員	
ステップ2		中堅研修Ⅱ期 3年目【ファシリテーター3年目フォローアップ研修】					
対象		R5 中堅研修Ⅱ期2年目受講者					
目的		保育士・幼稚園教諭・保育教諭としての専門性やリーダー性を高め、全園的な視野に立ち指導的な立場で園経営に参画できる資質・指導力の充実を図る。					
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	合同研修の有無
実践「グループ協議のファシリテーターをしよう」 講義・協議「3年目フォローアップ講座」							
1	10月31日(木) 10:00～12:00 13:00～16:00	産業会館 大研修室	午前:グループ協議のファシリテーターをしよう ファシリテーターとして、新任1年目、2年目の保育者の協議をファシリテートする。 午後:3年目フォローアップ研修 中堅Ⅱ期修了者に対する実践についてのクリニック	大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授 岡 健	Tb3	B6	午前: 基礎研修

一般研修

講座区分	講座名
ステップ3	管理職研修
対象	保育園長・幼稚園長・認定こども園長または、保育所・幼稚園・認定こども園の副園長等及び施設長・園長が推薦する者
目的	園管理運営の責任者として、保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の趣旨を踏まえ、人材の育成や組織の改善、広い視野に立った園経営能力の向上を図る。

実施日時	場所	内容	講師	定員	研修コード	研修HBコード	合同研修の有無
管理職研修							
講義「組織を育てる上での主任・ミドルリーダーの役割の重要性」 <i>ミドルリーダーの育成や園内研修の重要性</i>							
5月14日(火) 10:00～12:30	産業会館 大研修室	組織を育てる上での主任やミドルリーダーの役割の重要性について学びます。	大妻女子大学 家政学部 児童学科 教授 岡 健	80	Ea1	B6	中堅Ⅱ期 1年目

講義・協議「保育の質の向上を目指した園マネジメント」 <i>人材育成と子ども主体の保育について</i>							
7月12日(金) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	人材育成を意識し、子ども主体の保育を実現する園長の役割について学びます。	玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 教授 若月 芳浩	120	Ea2	E7	

講義・協議「これからの園に求められるリスクマネジメント」 <i>園の危機管理と子どもの権利保障</i>							
11月27日(水) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	園に求められる危機管理について、子どもの権利保障の視点を交えて学びます。	駒沢女子短期大学 保育科 教授 猪熊 弘子	120	Ea3	A3	

専門研修

講座区分		講座名					定員	
キャリアアップ		乳児保育に関する研修					120名	
対象		中堅ステージ以上の保育士・幼稚園教諭・保育教諭等						
目的		乳幼児保育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養い、他の保育者に乳幼児保育に関する適切な助言及び指導が出来るよう、実践的な能力を身に付ける。						
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	時数	
講義・協議「乳児保育の意義」								
1	9月3日(火) 講義・協議 14:00～17:00 オリエンテーション 17:00～17:30	市民会館 第1大会議室	・乳児保育の役割と機能 ・乳児保育の現状と課題	湘南ケアアンドエデュケーション研究所 所長 増田まゆみ	Kn1	C2	3	
講義・協議「乳児への適切な関わり」								
2	9月24日(火) 14:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	・乳児保育における配慮事項 ・乳児保育における保育者の関わり ・乳児保育における生活習慣の援助や関わり	非営利団体 コドモノミカタ 代表理事 井桁容子	Kn2	E5	3	
講義・協議「乳児の発達に応じた保育内容」								
3	10月15日(火) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領について ・乳児の発達と保育内容 ・1歳以上3歳未満児の発達と保育内容 持ち物 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領(自園の所属のもの)	相模女子大学学芸学部 子ども教育学科 准教授 浅見 佳子	Kn3	E4	3	
講義・協議「乳児保育の環境」								
4	11月5日(火) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・乳児保育における安全な環境 ・乳児保育における個々の発達を促す生活と遊びの環境	和泉短期大学 児童福祉学科 教授 松山 洋平	Kn4	E2	3	
講義・演習「乳児保育の指導計画、記録及び評価」								
5	12月 3日(火) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・全体的な計画に基づく指導計画の作成 ・観察を通しての記録及び評価 ・評価の理解及び取組	和泉短期大学 児童福祉学科 教授 松山 洋平	Kn5	E3	3	

専門研修

講座区分		講座名				定員	
キャリアアップ		幼児教育に関する研修				120名	
対象		中堅ステージ以上の保育士・幼稚園教諭・保育教諭等					
目的		幼児教育に関する理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた幼児教育を行う力を養い、他の保育者に幼児教育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。					
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	時数
講義・協議「幼児教育の意義」							
1	6月10日(月) 講義・協議 14:00～17:00 オリエンテーション 17:00～17:30	市民会館 第1大会議室	・幼児教育の役割と機能 ・幼児教育の現状と課題 ・幼児教育と児童福祉の関連性	東京家政大学 家政学部 児童学科 教授 佐藤 康富	Ky1	E1	3
講義・協議「幼児教育の環境」							
2	7月1日(月) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・幼児期にふさわしい生活 ・遊びを通しての総合的な指導 ・一人一人の発達の特性に応じた指導 ・他職種との協働	東京家政大学 家政学部 児童学科 教授 佐藤 康富	Ky2	E4	3
講義・協議「幼児の発達に応じた保育内容」							
3	7月30日(火) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について ・資質と能力を育むための保育内容 ・個々の子どもの発達の状況に応じた幼児教育	和泉短期大学 児童福祉学科 准教授 久保 小枝子	Ky3	D1	3
講義・協議「幼児教育の指導計画、記録及び評価」							
4	8月27日(火) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・全体的な計画に基づく指導計画の作成 ・観察を通しての記録及び評価 ・評価の理解及び取組	和泉短期大学 児童福祉学科 准教授 久保 小枝子	Ky4	E1	3
講義・協議「小学校との接続」							
5	10月22日(火) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・小学校教育との接続 ・架け橋期のカリキュラムの理解	関東学院大学 教育学部 講師 渡邊 英則	Ky5	F1	3

専門研修

講座区分		講座名						定員	
キャリアアップ		障害児保育・特別支援教育に関する研修						120名	
対象		中堅ステージ以上の保育士・幼稚園教諭・保育教諭等							
目的		障害児保育に関する理解を深め、適切な障害児保育を計画し、個々の子どもの発達の状態に応じた障害児保育を行う力を養い、他の保育者に障害児保育に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。							
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	時数	合同研修の有無	
講義・協議「障害児保育の理解と環境」									
1	6月5日(水) 講義 14:00～17:00 オリエンテーション 17:00～17:30	オンライン (市民会館 講習室)	・障害児保育における個々の発達を促す生活と遊びの環境 ・障害のある子どもと保育者との関わり ・障害のある子どもと他の子どもとの関わり	相模女子大学 学芸学部 子ども教育学科 教授 宇田川 久美子	Ks1	D3	3	支援コ	
講義「障害のある子どもの理解」									
2	8月7日(水) 14:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	・障害のある子どもの理解 ・医療的ケア児の理解 ・保護者や家族に対する理解と支援	相模原療育園 施設長 細田 のぞみ	Ks2	D3	3	支援コ	
講義・協議「関係機関との連携」									
3	9月20日(金) 14:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	・小学校との連携 ・保護者や家族に対する理解と支援	玉川大学 教育学部 乳幼児発達学科 教授 若月 芳浩	Ks3	F1	3	支援コ	
講義・協議「障害児の発達と援助」									
4	10月2日(水) 14:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	・障害のある子どもの発達と援助 ・合理的配慮に関する理解	明星大学 教育学部 教育学科 教授 星山 麻木	Ks4	D3	3	支援コ	
講義・演習「障害児保育の指導計画・記録及び評価」									
5	11月26日(火) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・合理的配慮に関する理解 ・全体的な計画に基づく指導計画の作成と観察・記録 ・個別の指導計画作成の留意点 ・障害児保育の評価	陽光園職員	Ks5	D3	3		

専門研修

講座区分		講座名				定員	
キャリアアップ		食育・アレルギー対応に関する研修				120名	
対象		中堅ステージ以上の保育士・幼稚園教諭・保育教諭・栄養士等					
目的		・食育に関する理解を深め、適切に食育計画の作成と活用ができる力を養う ・アレルギー対応に関する理解を深め、適切にアレルギー対応を行うことができる力を養う ・他の保育者に食育・アレルギー対応に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。					
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	時数
講義「アレルギー疾患の理解と保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」							
1	7月11日(木) 講義 15:00～17:00 オリエンテーション 17:00～17:30	市民会館 第1大会議室	・アレルギー疾患の理解 ・食物アレルギーのある子どもへの対応 ・保育所におけるアレルギー対応ガイドラインの理解	独立行政法人国立病院機構 相模原病院 小児科医師 小倉聖剛	Ka1	A2	2
講義・演習「アレルギーに関する知識と現場の対応」							
2	7月24日(水) 15:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・アレルギーに関する知識 ・アナフィラキシーショック(エピペンの使用方法を含む)の理解と対応	独立行政法人国立病院機構 相模原病院 小児科医師 高橋 享平	Ka2	A2	2
講義「栄養に関する基礎知識」							
3	8月8日(木) 13:00～17:00	オンライン (市民会館 第2中会議室)	・栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能 ・食事摂取基準と献立作成・調理の基本 ・衛生管理の理解と対応	相模女子大学 栄養科学部 健康栄養学科 特任教授 堤 ちはる	Ka3	A2	4
講義・協議「保育所における食事の提供ガイドライン」							
4	8月22日(木) 14:00～17:00	オンライン (市民会館 第2中会議室)	・保育所における食事の提供ガイドラインの理解 ・食事の提供における質の向上	相模女子大学 栄養科学部健康栄養学科 特任教授 堤 ちはる	Ka4	A2	3
講義・協議「食育計画の作成と活用」							
5	9月4日(水) 13:00～17:00	オンライン (市民会館 第2中会議室)	・食育の理解と計画及び評価 ・食育のための環境(他職種との協働等) ・食生活指導及び食を通じた保護者への支援 ・食育推進基本計画	相模女子大学 栄養科学部健康栄養学科 特任教授 堤 ちはる	Ka5	A2	4

専門研修

講座区分		講座名					定員	
キャリアアップ		保健衛生・安全対策に関する研修					120名	
対象		中堅ステージ以上の保育士・幼稚園教諭・保育教諭等						
目的		・保健衛生に関する理解を深め、適切に保健計画の作成と活用ができる力を養う。 ・安全対策に関する理解を深め、適切な対策を講じることができる力を養う。 ・他の保育者に保健衛生・安全対策に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。						
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	時数	
講義・協議「小児の発育・発達の理解と個別的な配慮を必要とする子どもへの対応」								
1	7月17日(水) 講義 15:00～17:00 オリエンテーション 17:00～17:30	オンライン (市民会館 講習室)	・小児の発育・発達の理解 ・個別的な配慮を必要とする子どもへの対応 ・医療的ケア児について	相模原療育園 施設長 細田 のぞみ	Ke1	A2	2	
講義・協議「保健計画の作成と活用」								
2	8月1日(木) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	・保健計画の作成 ・保健活動の記録と評価	神奈川県立保健福祉大学 看護学科 教授 臺 有桂	Ke2	A2	2	
講義・協議「保育所における感染症対策ガイドライン」								
3	9月5日(木) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	・「保育所における感染症対策ガイドライン」の理解と対応 ・血液を介して感染する病気の理解と対応	国立感染症研究所 感染症疫学センター 主任研究官 森野 紗衣子	Ke3	A2	2	
講義・協議「災害対策」								
4	9月27日(金) 14:00～17:00	オンライン (市民会館 第2中会議室)	・保育施設に求められる災害対策 ・災害への備えと危機管理 ・他職種との協働	鶴見大学短期大学部 教授 天野 珠路	Ke4	A2	3	
講義・協議「事故防止及び健康管理」								
5	11月12日(火) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・事故防止などに関する組織的取組 ・救急処置及び救急蘇生法の習得	株式会社 保育安全のかたち 代表取締役 遠藤 登	Ke5	A3	3	
講義・協議「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」								
6	12月4日(水) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・事故防止及び事故発生時の対応 ・安全な環境づくりと安全の確認方法	株式会社 保育安全のかたち 代表取締役 遠藤 登	Ke6	A3	3	

専門研修

講座区分		講座名				定員	
キャリアアップ		保護者支援・子育て支援に関する研修				120名	
対象		中堅ステージ以上の保育士・幼稚園教諭・保育教諭等					
目的		保護者支援・子育て支援に関する理解を深め、適切な支援を行うことができる力を養い、他の保育者に保護者支援・子育て支援に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。					
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	時数
講義・協議「保護者支援・子育て支援の意義」							
1	7月22日(月) 講義・協議 14:00～17:00 オリエンテーション 17:00～17:30	オンライン (市民会館 第1中会議室)	・保護者支援・子育て支援の役割と機能 ・保護者支援・子育て支援の現状と課題 ・園における困難と課題	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 亀崎 美沙子	Kh1	F2	3
講義・協議「保護者に対する相談援助」							
2	8月5日(月) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・保護者に対する相談援助の方法 ・保護者からの一般的な相談事例への対応 保護者の悩みについて考える ・保護者支援における面接技法「親の話を聴く」 ・保護者に対する相談援助の計画、記録及び評価	相模女子大学 学芸学部 子ども教育学科 教授 角田 雅昭	Kh2	F2	3
講義・協議「虐待予防」							
3	8月30日(金) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・児童虐待とは ・児童虐待予防と対応	明星大学人文学部 福祉実践学科 常勤教授 川松 亮	Kh3	F3	3
講義・協議「関係機関との連携・地域資源」							
4	10月7日(月) 14:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	・保護者支援・子育て支援における専門職および関係機関との連携 ・保護者支援・子育て支援における地域資源の活用	子育て支援センター職員	Kh4	F3	3
講義・協議「地域における子育て支援」							
5	11月18日(月) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・地域における子育て支援～教育・保育施設の役割 ・自園での取組の発表 ・地域の子育てをどう支援するか～園ができること～	相模女子大学 学芸学部 子ども教育学科 教授 宇田川 久美子	Kh5	F2	3

専門研修

講座区分		講座名				定員	
キャリアアップ		マネジメントに関する研修				120名	
対象		中堅ステージ以上の保育士・幼稚園教諭・保育教諭等					
目的		主任保育士の下で、ミドルリーダーを担う立場に求められる役割と知識を理解し、自園の円滑な運営と保育の質を高めるために必要なマネジメントの能力を身に付ける。					
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	時数
講義・協議「マネジメントの理解」							
1	7月29日(月) 講義・協議 14:00～17:00 オリエンテーション 17:00～17:30	市民会館 第1大会議室	・組織マネジメントの理解 ・園におけるマネジメントの現状と課題 ・関係法令・制度及び保育指針についての理解 ・他専門機関との連携・協働	東京都市大学人間科学部 人間科学科 准教授 園田 巖	Km1	B6	3
講義・演習「リーダーシップ」							
2	9月2日(月) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・保育所におけるリーダーシップの理解 ・職員への助言・指導 ・他職種との協働	東京都市大学人間科学部 人間科学科 准教授 園田 巖	Km2	B6	3
講義「組織目標の設定」							
3	9月30日(月) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・組織における課題の抽出及び解決策の検討 ・組織目標の設定と進捗管理	東京都市大学人間科学部 人間科学科 准教授 園田 巖	Km3	B4	3
講義・演習「働きやすい環境づくり」							
4	10月29日(火) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・雇用管理 ・キャリアパス ・職員のメンタルヘルス	東京都市大学人間科学部 人間科学科 准教授 園田 巖	Km4	C3	3
講義・演習「人材育成」							
5	12月2日(月) 14:00～17:00	市民会館 第1大会議室	・職員の資質向上 ・保育実習への対応 ・施設内研修の考え方と実践	東京都市大学人間科学部 人間科学科 准教授 園田 巖	Km5	B6	3

指定者研修

講座区分		講座名			定員		
指定者		支援保育コーディネーター研修(基礎編・発展編)					
対象		各園長・施設長から選任された支援保育コーディネーター					
目的		支援保育や関係機関・施設との連携について理解を深め、適切な環境を構成し、個々の子どもの発達の状態に応じた保育を行う力を養うとともに、実践的な能力を身に付ける。					
【基礎編】							
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	合同研修の有無
講義「関係機関等との連携」							
1	5月1日(水)～5月24日(金)	オンデマンド	・支援コーディネーターの役割 ・地域の専門機関との連携・協働 ・就学相談及び就学移行支援について	子育て支援センター職員 陽光園職員 青少年相談センター職員 保育課職員	Sk1	F3	
講義・協議「支援を必要とする子ども理解と幼・保・小・中の連携による支援①」							
2	5月30日(木) 15:00～17:00	※連携中学校・義務教育学校	支援を必要とする子どもの理解と幼・保・小・中の連携を意識した支援について講義や協議を通して学ぶ。 【持ち物】 ・各園で使用している名札　・上履き ・資料(事前にメールで送付)	東海大学 児童教育学部 児童教育学科 教授 関戸 英紀	Sk2	D3	小中コ
講義・協議「支援を必要とする子ども理解と配慮」							
3	10月18日(金) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室)	・支援を必要とする子ども理解 ・合理的配慮 ・保護者支援の実践	特定非営利活動法人 ワンダートンネル 理事長 千谷 史子	Sk3	D3	
講義・演習「保護者支援の実践」「障害児保育の指導計画・記録及び評価」							
4	11月11日(月) 14:00～17:00	オンライン (あじさい会館 研修室)	・専門機関との連携・協働 ・全体的な計画に基づく指導計画の作成と観察・記録 ・生活支援プラン(Map)について ・個別の指導計画作成の留意点 ・障害児保育の評価	陽光園職員 子育て支援センター職員	Sk4	D3	
講義・協議「支援を必要とする子ども理解と幼・保・小・中の連携による支援②」							
5	1月17日(金) 15:00～17:00	※連携中学校・義務教育学校	支援を必要とする子どもの理解と幼・保・小・中の連携を意識した支援について、講義や協議を通して学ぶ。 【持ち物】 ・各園で使用している名札　・上履き ・資料(事前にメールで送付)	東海大学 児童教育学部 児童教育学科 教授 関戸 英紀	Sk5	D3	小中コ
【発展編】							
No.	実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	合同研修の有無
講義・協議「支援を必要とする子ども理解と幼・保・小・中の連携による支援①」							
1	5月30日(木) 15:00～17:00	※連携中学校・義務教育学校	支援を必要とする子どもの理解と幼・保・小・中の連携を意識した支援について講義や協議を通して学ぶ。 【持ち物】 ・各園で使用している名札　・上履き ・資料(事前にメールで送付)	東海大学 児童教育学部 児童教育学科 教授 関戸 英紀	Sk2	D3	小中コ
講義・協議「支援を必要とする子ども理解と幼・保・小・中の連携による支援②」							
2	1月17日(金) 15:00～17:00	※連携中学校・義務教育学校	支援を必要とする子どもの理解と幼・保・小・中の連携を意識した支援について講義や協議を通して学ぶ。 【持ち物】 ・各園で使用している名札　・上履き ・資料(事前にメールで送付)	東海大学 児童教育学部 児童教育学科 教授 関戸 英紀	Sk5	D3	小中コ
専門性を高めるために(選択研修)							
3	5月～11月	オンライン	支援保育コーディネーターとして、興味・関心のある事柄や課題について、講義や協議を通して学び、専門性を高める。 ※基礎研修「配慮を要する乳幼児の理解」 支援保育コーディネーター研修(基礎編 3講座) キャリアアップ研修(障害児保育・特別支援教育に関する研修(①～④)から1講座を選択して受講します。	各講師			基礎研修 キャリアアップ

指定者研修

講座区分	講座名					
指定者	幼保小連携研修					
対象	幼保小連携担当者または年長クラス担任(各園1名)、希望する職員					
目的	保育所・幼稚園・認定こども園及び小学校の関係者が連携推進に関する課題を共有し、講義や協議を通じて互いの教育・保育への理解を深め、小学校との円滑な接続を図る。					
実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	合同研修の有無
講義・協議「幼保小の協働による架け橋期の教育の充実について①」						
6月7日(金) 15:00～17:00	※各連携小学校・義務教育学校	幼保小の協働による架け橋期の教育の充実について、講義や協議を通して学ぶ。 【持ち物】 ・各園で使用している名札 ・上履き ・年間行事予定表 ・5歳児の年間指導計画、接続期のカリキュラム ・資料(事前にメールで送付)	東海大学 児童教育学部 准教授 寶来 生志子	Ys1	F1	小学校 幼保小 担当研 修
講義・協議「幼保小の協働による架け橋期の教育の充実について②」						
1月27日(月) 15:00～17:00	オンライン (市民会館 講習室) ※接続は各園1台 まで	幼保小の協働による架け橋期の教育の充実について、講義や協議を通して学ぶ。	学習院大学 文学部 教育学科 教授 秋田 喜代美	Ys2	F1	

講座区分	講座名					
指定者	医療的ケア児支援研修					
対象	医療的ケア児の受け入れ園の職員					
目的	医療的ケア児の看護の内容や支援の事例を学ぶ。					
実施日時	場所	内容	講師	研修コード	研修HBコード	合同研修の有無
講義「医療的ケア児の生活と看護」						
未定 ※後日お知らせ します	市民会館(予定)	医療的ケア児の生活と看護	未定 ※後日お知らせ します	Ic1	D3	

4 研修講座一覧

講座区分 キヤ：キャリアアップ研修 一般：一般研修 指定：指定者

月	日	曜	時 間	*講座区分	研 修 名	会 場	申し込み	
							方法	開始日
5	5月1日（水）から 5月24日（金）まで			指定	支援保育コーディネーター研修（基礎編 ） （関係機関との連携）	オンデマンド	指定様式	
	14	火	10:00～12:30	一般	管理職研修 （組織を育てる上での主任・ミドルリーダーの役割の重要性）	産業会館 大研修室	電子	4/17
			10:00～16:00	指定	中堅研修 期1年目 （組織を育てる上での主任・ミドルリーダーの役割の重要性 / 子どもを語る・写真（映像）で語る ）		指定様式	
	21	火	15:00～17:00	一般	基礎研修 （保育者としての心構え）	オンライン （市民会館 講習室）	電子	4/17
	24	金	15:00～17:00	一般	中堅研修 （次世代の保育者を育てるには ）	市民会館 第2大会議室	電子	4/17
	30	木	15:00～17:00	指定	支援保育コーディネーター研修（基礎編 ・発展 編 ）（幼・保・小・中の連携による支援）	各連携中学校・義務教育学校		
6	4	火	10:45～12:45	一般	中堅研修 期1年目 （子どもを語る・写真（映像）で語る ）	市民会館 第1大会議室		
			10:00～16:00	一般	中堅研修 期2年目 （園内研修の意義と進め方）			
	5	水	14:00～17:30	キャ	障害児保育・特別支援教育に関する研修 （障害児保育の理解と環境） オリエンテーション	オンライン （市民会館 講習室）	電子	4/19
	7	金	15:00～17:00	指定	幼保小連携研修（幼保小の協働による架け橋期の 教育の充実について ）	各連携小学校・義務教育学校	指定様式	
	10	月	14:00～17:30	キャ	幼児教育に関する研修 （幼児教育の意義） オリエンテーション	市民会館 第1大会議室	電子	4/19
	11	火	15:00～17:00	一般	基礎研修（配慮を要する乳幼児の理解）	オンライン （市民会館 講習室）	電子	4/17
	20	木	15:00～17:00	一般	中堅研修 期 （ミドルリーダーとして大切にしたいこと）	オンライン （市民会館 第1中会議室）	電子	4/17
	21	金	15:00～17:00	一般	中堅研修 （次世代の保育者を育てるには ）	市民会館 第2大会議室		
7	1	月	14:00～17:00	キャ	幼児教育に関する研修 （幼児教育の環境）	市民会館 第1大会議室		
	10	水	15:00～17:00	一般	中堅研修 （次世代の保育者を育てるには ）	市民会館 第2大会議室		
	11	木	15:00～17:30	キャ	食育・アレルギー対応に関する研修 （アレルギー疾患の理解と保育所におけるアレル ギー対応ガイドライン）・オリエンテーション	市民会館 第1大会議室	電子	4/19
	12	金	15:00～17:00	一般	管理職研修 （保育の質の向上を目指した園マネジメント）	オンライン （市民会館 講習室）	電子	5/9
	16	火	10:00～16:00	一般	中堅研修 期1年目 （子どもを語る・写真（映 像）で語る / 語り合うための土台 ）	産業会館 中研修室		
	17	水	15:00～17:30	キャ	保健衛生・安全対策に関する研修 （小児の発育・発達の理解と個別的な配慮を必要と する子どもへの対応）・オリエンテーション	オンライン （市民会館 講習室）	電子	4/19
	22	月	14:00～17:30	キャ	保護者支援・子育て支援に関する研修 （保護者支援・子育て支援の意義） オリエンテーション	オンライン （市民会館 第1中会議室）	電子	4/19
	24	水	15:00～17:00	キャ	食育・アレルギー対応に関する研修 （アレルギーに関する知識と現場の対応）	市民会館 第1大会議室		
	26	金	10:00～16:00	一般	中堅研修 期2年目 （園内研修実践の振り返り / 子どもを語る・写真（映像）で語る ）	産業会館 中研修室		
	29	月	14:00～17:30	キャ	マネジメントに関する研修 （マネジメントの理解）・オリエンテーション	市民会館 第1大会議室	電子	4/19
	30	火	14:00～17:00	キャ	幼児教育に関する研修 （幼児の発達に応じた保育内容）	市民会館 第1大会議室		

8	1	木	15:00～17:00	キャ	保健衛生・安全対策に関する研修 (保健計画の作成と活用)	オンライン (市民会館 講習室)		
	5	月	14:00～17:00	キャ	保護者支援・子育て支援に関する研修 (保護者に対する相談援助)	市民会館 第1大会議室		
	7	水	14:00～17:00	キャ	障害児保育・特別支援教育に関する研修 (障害のある子どもの理解)	オンライン (市民会館 講習室)		
	8	木	13:00～17:00	キャ	食育・アレルギー対応に関する研修 (栄養に関する基本知識)	オンライン (市民会館 第2中会議室)		
	21	水	15:00～17:00	一般	中堅研修 期 (子ども理解を深め明日の保育に生かす記録)	市民会館 第1大会議室	電子	5/9
	22	木	14:00～17:00	キャ	食育・アレルギー対応に関する研修 (食事の提供ガイドライン)	オンライン (市民会館 第2中会議室)		
	27	火	14:00～17:00	キャ	幼児教育に関する研修 (幼児教育の指導計画、記録及び評価)	市民会館 第1大会議室		
	30	金	14:00～17:00	キャ	保護者支援・子育て支援に関する研修 (虐待予防)	市民会館 第1大会議室		
9	2	月	14:00～17:00	キャ	マネジメントに関する研修 (リーダーシップ)	市民会館 第1大会議室		
	3	火	14:00～17:30	キャ	乳児保育に関する研修 (乳児保育の意義)・オリエンテーション	市民会館 第1大会議室	電子	4/19
	4	水	13:00～17:00	キャ	食育・アレルギー対応に関する研修 (食育計画の作成と活用)	オンライン (市民会館 第2中会議室)		
	5	木	15:00～17:00	キャ	保健衛生・安全対策に関する研修 (保育所における感染症対策ガイドライン)	オンライン (市民会館 講習室)		
	6	金	10:00～16:00	一般	中堅研修 期2年目 (園内研修実践の振り返り / 子どもを語る・写真(映像)で語る)	産業会館 中研修室		
	10	火	10:00～16:00	一般	中堅研修 期1年目 (語り合うための土台 / 子どもを語る・写真(映像)で語る)	産業会館 中研修室		
	17	火	15:00～17:00	一般	中堅研修 期 往還型研修 (乳幼児理解と指導計画)	産業会館 中研修室	電子	5/9
	20	金	14:00～17:00	キャ	障害児保育・特別支援教育に関する研修 (関係機関との連携)	オンライン (市民会館 講習室)		
	24	火	14:00～17:00	キャ	乳児保育に関する研修 (乳児への適切な関わり)	オンライン (市民会館 講習室)		
	25	水	15:00～17:00	一般	基礎研修 (アレルギー疾患の理解と対応)	オンライン (市民会館 第2中会議室)	電子	5/9
	27	金	14:00～17:00	キャ	保健衛生・安全対策に関する研修 (災害対策)	オンライン (市民会館 講習室)		
	30	月	14:00～17:00	キャ	マネジメントに関する研修 (組織目標の設定)	市民会館 第1大会議室		
10	2	水	14:00～17:00	キャ	障害児保育・特別支援教育に関する研修 (障害児の発達と援助)	オンライン (市民会館 講習室)		
	3	木	15:00～17:00	一般	基礎研修 (食育の理解と実践)	オンライン (市民会館 第2中会議室)	電子	7/18
	7	月	14:00～17:00	キャ	保護者支援・子育て支援に関する研修 (関係機関との連携・地域資源)	オンライン (市民会館 講習室)		
	8	火	15:00～17:00	一般	基礎研修 (相模原市幼児教育・保育ガイドライン の理解と活用)	オンライン (市民会館 講習室)	電子	7/18
	15	火	14:00～17:00	キャ	乳児保育に関する研修 (乳児の発達に応じた保育内容)	市民会館 第1大会議室		
	18	金	15:00～17:00	指定	支援保育コーディネーター研修(基礎編) (支援を必要とする子ども理解と配慮)	オンライン (市民会館 講習室)		
	22	火	14:00～17:00	キャ	幼児教育に関する研修 (小学校との接続)	市民会館 第1大会議室		
	24	木	15:00～17:00	一般	基礎研修 (主体的な遊びの重要性)	オンライン (市民会館 講習室)	電子	7/18
	25	金	14:00～16:00	一般	保育実践・実技研修 (自然を使って遊ぼう)	サン・エールさがみはら 多目的室 (実践は橋本公園にて)	電子	7/18
	29	火	14:00～17:00	キャ	マネジメントに関するに関する研修 (働きやすい環境づくり)	市民会館 第1大会議室		

10	31	木	10:00～12:00	一般	基礎研修 (語り合おう～保育者になって～)	産業会館 大研修室	電子	7/18
			10:00～16:00	一般	中堅研修 期3年目フォローアップ研修 (グループ協議のファシリテーターをしよう / 3年目フォローアップ講座)			
11	5	火	14:00～17:00	キャ	乳児保育に関する研修 (乳児保育の環境)	市民会館 第1大会議室		
	6	水	9:30～16:00	一般	中堅研修 期1年目 - 1 (公開保育の参観・協議)	公開園		
	11	月	14:00～17:00	指定	支援保育コーディネーター研修(基礎編) (保護者支援の実践/障害児保育の指導計画・記録及び評価)	オンライン (あじさい会館 研修室)		
	12	火	14:00～17:00	キャ	保健衛生・安全対策に関する研修 (事故防止及び健康安全管理)	市民会館 第1大会議室		
	15	金	15:00～17:00	一般	保育実践・実技研修 (子どもの世界が広がる絵本の読み聞かせ)	市民会館 第2大会議室	電子	9/20
	18	月	14:00～17:00	キャ	保護者支援・子育て支援に関する研修 (地域における子育て支援)	市民会館 第1大会議室		
	19	火	9:30～16:00	一般	中堅研修 期1年目 - 2 (公開保育の参観・協議)	公開園		
	22	金	15:00～17:00	一般	基礎研修 (幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保 連携型認定こども園教育・保育要領の理解)	オンライン (市民会館 講習室)	電子	9/20
	26	火	14:00～17:00	キャ	障害児保育・特別支援教育に関する研修 (障害児保育の指導計画・記録及び評価)	市民会館 第1大会議室		
	27	水	15:00～17:00	一般	管理職研修 (これからの園に求められるリスクマネジメント)	オンライン (市民会館 講習室)	電子	9/20
	29	金	15:00～17:00	一般	基礎研修 (乳幼児の事故や疾病への対応)	オンライン (市民会館 講習室)	電子	9/20
12	2	月	14:00～17:00	キャ	マネジメントに関する研修 (人材育成)	市民会館 第1大会議室		
	3	火	14:00～17:00	キャ	乳児保育に関する研修 (乳児保育の指導計画、記録及び評価)	市民会館 第1大会議室		
	4	水	14:00～17:00	キャ	保健衛生・安全対策に関する研修 (事故防止・ガイドライン)	市民会館 第1大会議室		
1	16	木	17:00～19:00	一般	基礎研修(子どもの権利・人権の尊重、児童虐待 の理解と対応)	オンライン (市民会館 講習室)	電子	9/20
	17	金	15:00～17:00	指定	支援保育コーディネーター研修(基礎編・発展 編)(幼・保・小・中の連携による支援)	各連携中学校・義務教育学校		
	27	月	15:00～17:00	指定	幼保小連携研修(幼保小の協働による架け橋期の 教育の充実について)	オンライン (市民会館 講習室)		
	28	火	15:00～17:00	一般	中堅研修 期 往還型研修 (乳幼児理解と指導計画)	産業会館 中研修室		
2	3	月	10:00～12:00	一般	中堅研修 期1年目 (公開保育後の取組と次年度への課題)	産業会館 中研修室		
	18	火	10:00～12:00	一般	中堅研修 期2年目 (2年間のまとめ、今後の役割)	産業会館 中研修室		

医療的ケア児支援研修については、詳細が決まり次第お知らせいたします。
 対面での研修を予定している場合も、状況に応じ、オンラインに変更になる場合があります。
 オンラインで実施の研修も、オンライン環境が整っていない園の受講者については、今年度も会場で受講できます。
 会場の定員には限りがありますので、可能な方はオンラインでの受講をお願いいたします。

こちらの表を参考に申し込むと便利です。
 電子申請と指定様式での申し込み
 方法があります。シラバスで内容を確認
 しながら申し込んでください。



5 研修の計画・受講申請・終了までの流れ

1 研修の計画・受講講座の選択



- (1) 園において職員の研修計画を立案し、園の運営・行事、職員体制等に合わせて、研修を選択し、受講者を決定します。
- (2) 一般研修「ステップ 1」は、基礎研修 10 講座で、1 講座ごとの受講です。新任 1・2 年目・新設園の園長・ブランクのある職員・他職種等、どなたでも受講できます。
- (3) 一般研修「ステップ 2」「保育実践・実技研修」は、2 講座です。
- (4) 「中堅研修 期」は 1 講座ごとの受講です。「中堅研修 期」の「乳幼児理解と指導計画」は往還型研修です。2 回連続して受講できる方が対象です。
- (5) 「次世代の保育者を育てるには」は、3 回シリーズの実習の受け入れや指導に関する研修です。実習担当をされている方、管理職の方、是非ご参加ください。
- (6) 「中堅研修 期 1 年目及び 2 年目」は、園内研修推進者の育成を目的とし、2 年間継続して受講する研修です。2 年目には、自園において公開保育を実施します。2 年間で全 11 回受講できる方が対象です。今年度、1 年目の募集を行います。
- (7) キャリアアップ研修(7 分野)は、全日程受講できる方が対象です。処遇改善加算 の研修要件の対象としても位置付けられています。全日程 15 時間受講を修了した方に、国指定の修了証を発行します。神奈川県に受講修了者名簿を提出します。**キャリアアップ研修の申し込みは、各施設 1 分野 1 名の募集とさせていただきます。**
- (8) 支援保育コーディネーター研修(発展編)は、1 講座が選択制になります。支援保育コーディネーター研修(基礎編)、キャリアアップ研修「障害児保育・特別支援教育に関する研修」、基礎研修「配慮を要する乳幼児の理解」から興味のある講座を選択して、お申し込みください。

2 受講申し込み

- (1) 講座により、**指定の申込書による申請** **電子申請による申請**があります。各々の申請の方法で、申込期間内に申し込みをします。

指定の申込方法による申請

A 支援保育コーディネーター対象の「支援保育コーディネーター研修」

事務連絡を4月上旬に該当施設へメールにて送付いたします。

今年度の支援保育コーディネーターを選出し、研修の『基礎編』か『発展編』を選択し、【メール】または【郵送】にて期日までに申請してください。

B 小学校との連携担当対象の「幼保小連携研修」

事務連絡を4月上旬にメールにて送付いたします。【Logo フォーム】にて期日までに申請してください。地域の連携小・中学校を確認ください。

C 中堅研修 期1年目

事務連絡を4月上旬にメールにて送付いたします。所属長の推薦書を提出していただきます。指定の推薦書にて【メール】または【郵送】にて期日までに申請してください。

D 中堅研修 期3年目

研修が近づきましたら、事務連絡を送付いたしますので、【Logo フォーム】にて期日までに申請してください。

電子申請

相模原市のホームページのトップページにある「相模原市電子申請」から申し込みます。先着順にて受け付け、定員に達すると申し込みは締め切られます。P.33「6 電子申請」をよくお読みになり、申請をしてください。

- (2) オンラインで実施する研修においても、オンラインの環境が整っていない園の受講者については、今年度も、会場で受講することができます。なお、会場の定員には限りがありますので、可能な方はオンラインでの受講をお願いいたします。

- (3) キャリアアップ研修については、処遇改善加算に係る研修でもあります。職務分野別リーダー等については、今年度から研修修了要件を適用、副主任保育士等については、令和5年度から研修修了要件を段階的に適用し、令和8年度には4分野（保育所及び地域型保育事業所）もしくは60時間（幼稚園・認定こども園）の研修修了が必須となりますので計画的に受講してください。

キャリアアップ研修の申し込みは、
各施設1分野1名の募集とさせていただきます。



電子申請の期間

次の研修においては、**電子申請**を行います

一般研修			
		「基礎研修」 10 講座	「保育実践・実技」 2 講座
		「中堅研修 期」 4 講座	「管理職研修」 3 講座
期	研修実施日程期間	講座数	電子申請の期間[時間] [開始初日の8時30分～終了日の17時まで]
第1期	5月14日(火)～ 6月20日(木)	5	4月17日(水)～ 4月30日(火)
第2期	7月12日(金)～ 9月25日(水)	4	5月9日(木)～ 5月22日(水)
第3期	10月3日(木)～ 10月31日(木)	5	7月18日(木)～ 7月31日(水)
第4期	11月15日(金)～ 1月16日(木)	5	9月20日(金)～ 10月3日(木)
各講座、 <u>定員に達した時点で、締め切りとなります。申請画面には「受付終了しました」の表示が出ます。</u>			
電子申請の期間の終了時点で空席がある講座はメールにて再募集をお知らせします。			

専門研修「キャリアアップ研修全日程受講コース」 7分野		
第1期	7分野	4月19日(金)8時30分から 4月25日(木)17時まで
第2期	7分野のうち空席分の再募集	5月9日(木)8時30分から 5月15日(水)17時まで
キャリアアップ全日程受講コースは、<u>全日程15時間を受講できる方が対象です。</u> 二重申請とならないよう、気をつけて申請してください。 <u>定員に達した時点で、締め切りとなります。</u> キャリアアップ研修、支援保育コーディネーター研修受講者は履修カードを作成します。3×4センチの写真を添付し、保育課に【持参】または【郵送】で提出してください。受講証明として市のスタンプを押印します。受講者が決定しましたら、講座ごとに事務連絡、メールで詳細をお知らせします。		

3 研修当日

当日の持ち物

- 相模原市保育者ステップアップ研修のしおり(目的・日時・場所・内容・講師を確認しましょう)
- 自園に関連する保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
- 黒・赤・青色のボールペン
- 黒色のサインペン(付箋記入用)
- ラインマーカー
- ハサミ(演習の中で使用することがある)
- ステックのり(演習の中で使用することがある)
- オンラインで実施の研修は、2日前までに資料を送付しますので、会場で受講する方も印刷しご用意ください。受講者全員が対面で実施の研修は会場で資料を配布します。
- 各施設・個人で所有の研修ハンドブック、カード、ノート等(受講証明が必要な方)
受講証明が必要な方は、お申し出ください。

当日の流れ 受付～研修～終了

- (1) 当日は開始時間の5分前までに集合します。オンラインで受講の方は、P.37「7 参考資料 オンライン接続方法(参考)」に添って接続し、「氏名」「園名」を表示し、カメラをオン、マイクをオフにしてお待ちください。
対面、オンラインに関わらず、
15分以上の遅刻・早退は、受講として認められませんので留意ください。
- (2) 会場での受付では、「氏名」「園名」をお伝えください。指定された場所へ着席してください。
- (3) 研修の受講証明の必要な方は、施設または個人の研修ハンドブック・研修カード・研修ノート等に市のスタンプを押印しますので、研修修了後にお申し出ください。
- (4) 研修の中で、自園で実践する取組課題が出されることがあります。自園に目的や方法を伝え、研修成果となる実践ができるようにしましょう。
- (5) 感染症・天候・災害・講師の関係等により、開催方法を変更、中止、延期する場合は、参加者の園又は全園へ、メールまたは電話により連絡いたします。
- (6) 対面、オンラインに関わらず、欠席される場合は、事前に保育課に連絡をいただき、理由をお伝えください。

保育課 042 - 769 - 8313

4 受講修了

- (1) 「支援保育コーディネーター研修(基礎編)全日程」、「中堅研修 期1・2年目 全日程」、「次世代の保育者を育てるには 全日程」の受講を修了した方に修了証を発行します。
はキャリアアップ研修の「マネジメントに関する研修」として受講時間(上限15時間)を充てることができます。(ご希望の方はお申し出ください。)
- (2) 受講修了後は、自園にて報告、園内研修、保育の中での実践に活用ください。
- (3) 研修を受講した履歴や修了証等については、個人での管理をお願いいたします。

キャリアアップ研修について

- ・キャリアアップ研修第1回の研修後に、オリエンテーションを実施します。
- ・キャリアアップ研修を全時間修了しましたら、レポートを提出します。研修修了後2週間のレポート提出期間中に、『修了証申し込み』を電子申請してください。レポートの提出と修了証申請をした方に、国指定の修了証を発行します。

P.40「7 参考資料 キャリアアップ研修振り返りレポートの書き方」参照

- ・レポート作成は、電子申請の画面から様式(Word)をダウンロードし、入力して印刷または、黒ボールペン等で記入。
消せるペン、鉛筆、修正テープの使用は不可です。
- ・レポートは、必ず所属長に提出し、サインをもらってください。
- ・レポートは、最終日の研修修了後2週間以内に、保育課へ持参または郵送で提出してください。

〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15 相模原市役所保育課

●●●●研修担当 宛 [例：マネジメント研修担当]

研修分野	最終日	レポート提出・修了証申請 締め切り日
1 乳児保育	12月 3日(火)	12月17日(火)
2 幼児教育	10月22日(火)	11月 5日(火)
3 障害児保育・特別支援教育	11月26日(火)	12月10日(火)
4 食育・アレルギー対応	9月 4日(水)	9月18日(水)
5 保健衛生・安全対策	12月 4日(水)	12月18日(水)
6 保護者支援・子育て支援	11月18日(月)	12月 2日(月)
7 マネジメント	12月 2日(月)	12月16日(月)

6 電子申請方法

○ 保育者ステップアップ研修の申し込み ○

「e-kanagawa 電子申請 相模原市電子申請」の画面へ

検索ワード「相模原市 電子申請」で検索

「手続き申込」画面の検索メニューで検索キーワードに

「研修」「基礎研修」などを入力し検索します。

分類別、五十音でも探せます。

電子申請システムは申請や届出などをインターネットから行うためのオンラインサービスです。

パソコンやスマートフォンから申込みができます。



相模原市ホームページのトップページにも「電子申請」のバナーがあります。

希望する研修の手続き名を選択します。

ステップの『す』
キャリアの『き』

研修日・研修講座名は、シラバス・
研修講座一覧でご確認ください。

利用規約に同意し、次の画面に進みます。

キャリアアップ研修全日程修了後の「振り返りレポート用紙」はこちらからダウンロードしてください。

⑤入力フォームに申込内容を入力します。

申込

お名前 必須

申込者の氏名を入力してください。

氏： 名：

機種依存文字は使用しないでください。

お名前（フリガナ） 必須

全角カタカナで入力してください。

氏 名

入力されたお名前、園名で名簿を作成します。

メールアドレス 必須

申込完了通知送信用

メールアドレス

申し込み完了メールが届きます。

園名 必須

受講方法を選択してください。 必須

☐ オンライン

☒ 会場

オンラインでの研修の場合、オンラインまたは会場、どちらで受講するかを選択してください。

経験年数 必須

☐ 1～2年

☐ 3～8年

☒ 9年以上

受講の許可を、施設長・園長等に得ている。 必須

☒ 許可済

☐ 勤務時間外

☐ その他

⑥確認へ進むボタンを押します。

⑦申し込み内容を確認します。

申込確認	
【テスト】相模原市保育者ステップアップ研修（基礎研修）	
お名前	相模 神奈子
お名前（フリガナ）	サガミ カナコ
メールアドレス	sagami@city.sagamihara.kanagawa.jp
園名	〇〇保育園
施設類型	保育所
受講方法	オンライン
電話番号	012-345-6789
経験年数	1～2年
受講の許可を、施設長・園長等に得ている。	許可済

利用者登録はお勧めしません。登録すると名前や電話番号が自動でフォームに入力されますが、ログインのためにアドレスとパスワードの入力が必要になります。また、申し込みに制限がかかります。（園のアドレスで複数人の申し込みができない等）

< 入力へ戻る

申込む >



⑧入力に問題なければ「申込む」を押します。

申込完了
申込が完了しました。 申込完了通知メールをご確認ください。 申込内容の照会はできません。（到達番号などは発行されません。） ご不明な点がありましたらお問い合わせください。 お問い合わせ先 相模原市保育課042-769-8313

到達番号やパスワードは発行されません。申込内容の照会、修正取り下げ、変更は、申請者にはできません。保育課へ、研修名・園名・お名前でお問い合わせください。

< 一覧へ戻る

電子申請はこれで完了です。

「申込完了」のメッセージを確認した際に印刷しておくといいです。

○キャリアアップ研修修了証申請○

P. 33 ①～④をご参照ください。
【入力フォーム】

お名前 必須

申込者の氏名を入力してください。

氏： 相模 名： 神奈子

お名前（フリガナ） 必須

全角カタカナで入力してください。

氏 サガミ 名 カナコ

生年月日 必須

20230123



郵便番号（個人） 必須

郵便番号 2520239 住所検索

住所（個人） 必須

住所 神奈川県相模原市中央区中央 2-11-15

園名 必須

勤務先施設の正式名称を入力してください。（法人名は不要）（例：認定こども園〇〇幼稚園）

〇〇保育園

職種 必須

- ☒ 保育士
☐ 保育教諭
☐ 幼稚園教諭
☐ 栄養士
☐ 看護師
☐ その他

選択解除

保育士登録番号（都道府県） 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

保育士資格のある方は登録されている都道府県名を入力してください。（例：神奈川県）

神奈川県

保育士登録番号（番号） 必須 選択肢の結果によって入力条件が変わります

保育士資格のある方は登録番号（数字6桁）を入力してください。（例：001234）

012345

メールアドレス 必須

申込完了通知送信用

メールアドレス sagami@city.sagamihara.kanagawa.jp

★あらかじめご準備ください★

キャリアアップ研修修了証の申し込みには、保育士登録番号（保育士資格のある方）、住所（自宅、勤務先）、生年月日が必要です。

郵便番号をハイフンなしで入力し、住所検索のボタンを押すと住所が入ります。必ず都道府県名から入力してください。

入力された情報で修了証を発行します。正式名称を確認し入力してください。

保育士登録番号（都道府県名・番号）は栄養士、看護師は入力不要です。（欄が消えます。）幼稚園教諭、その他の方は任意入力となっています。

確認へ進む >

7 参考資料

①オンライン接続方法（参考）

スマートフォン、タブレットの場合は、アプリのインストールが必要です。
時間に余裕をもって接続してください。

準備するもの ・インターネットにつながる端末

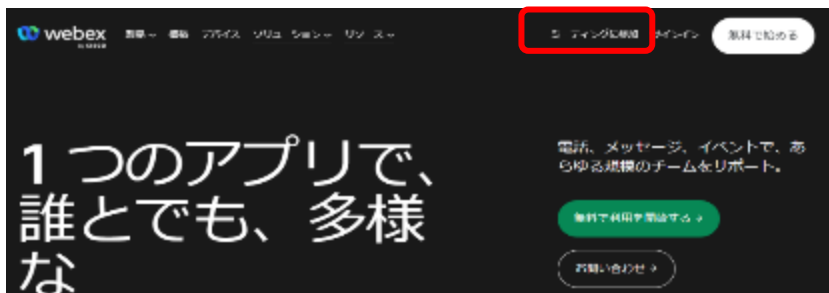
① Google の検索画面に「webex」と入力します。



② 検索して Cisco Webex のサイトをクリックします。



③ Cisco Webex のサイトが開いたら「ミーティングに参加」をクリックします。



※右上に出る「≡」2本バーの中を開くと「ミーティングに参加」があることもあります。

④ 「ミーティング番号」の欄に、**通知された**数字を半角で入力してください。

0123 456 7890



研修ごとに通知します。

- ⑤ 「ミーティングパスワード」の欄に、**通知された**英数字を半角で入力してください。(大文字小文字に注意)

AbcDE0123fg

ミーティングに関する詳細を表示するには、ミーティングパスワードを入力してください。

研修ごとに通知します。

ミーティングパスワードを入力してください

OK

- ⑥ 研修名が表示されるので、「ミーティングに参加」をクリックください。

【例】

研修名

ミーティングに参加 ▼

- ⑦ 次のような画面が出たら「キャンセル」を押してください

このサイトは、Webex を開こうとしています。

https://sagamihara-city.webex.com では、このアプリケーションを開くことを要求しています。

☐

sagamihara-city.webex.com が、関連付けられたアプリでこの種類のリンクを開くことを常に許可する

開く

キャンセル

- ⑧ 「ブラウザから参加します。」をクリックしてください。

プロンプトで **[Webex を開く]** をクリックします。

プロンプトが表示されない場合は、ミーティングを開始 をクリックします。

ミーティングを開始

Webex がない場合、[今すぐダウンロードしてください。](#)

ダウンロードせずに参加しますか？ [ブラウザから参加します。](#)

- ⑨ 表示名には【氏名 園名】、メールアドレス欄にはご自身のメールアドレスを入力し、「次へ」をクリックしてください。

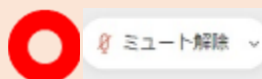
★氏名、園名の順でご入力ください。

名前には、【氏名・園名】を入力してください。

メールアドレスを入力してください。
任意のメールアドレスで結構です。

- ⑩ マイクを「ミュート」、ビデオを「オン」にして「ミーティングに参加」をクリックします。

ここをクリックして、下の○の状態にしてください。



ミュート解除



ミュート

ここをクリックして、下の○の状態にしてください。



ビデオを停止



ビデオを開始



②キャリアアップ研修振り返りレポートの書き方

キャリアアップ研修振り返りレポート

受講分野 ■ チェック	☐ 乳児保育 ☐ 幼児教育 ☐ 障害児保育 ☐ 食育・アレルギー ☐ 保健・安全 ☐ 保護者支援 ☐ マネジメント
【フリガナ】	【園名】 正式名称を記載します。 (例) 幼保連携型認定こども園 ■
【氏名】正式な氏名をお書きください。 パソコンで出ない字は手書きでお書きください。	【園 】
この研修を受講した成果について、以下の3つの観点を入れて記述してください。(概ね 400 文字以上) これまでの自らの保育を振り返って感じたこと。 自園に持ち帰り周知したことや、実践したこと。 今後、後進の育成に役立てたいことや取り組みたいこと。 *正式な文書となります。黒ボールペン等、消えないペンで記載して下さい。 *電子申請時に、電子申請画面から本様式<Word>をダウンロードしたものに入力も可。	

```

    graph LR
      A[提出前に必ず確認  
しましょう。] --> B[実際のレポート用紙  
はA４サイズ表裏]
      B --> C[完成したら、必ず  
所属長に報告し、  
サインをいただき  
提出します。]
      D[所属長サイン] --- C
      
```

提出前に必ず確認
しましょう。

実際のレポート用紙
はA４サイズ表裏

完成したら、必ず
所属長に報告し、
サインをいただき
提出します。

所属長サイン

提出前の確認です

受講分野をチェック✓しましたか。 ☐ はい ☐ いいえ→チェック✓してください。

所属長に提出し、サインをもらいましたか。 ☐ はい ☐ いいえ → 所属長へ提出してください。

「修了証交付」の電子申請をしましたか。 ☐ はい ☐ いいえ → 「修了証申請」をしてください。

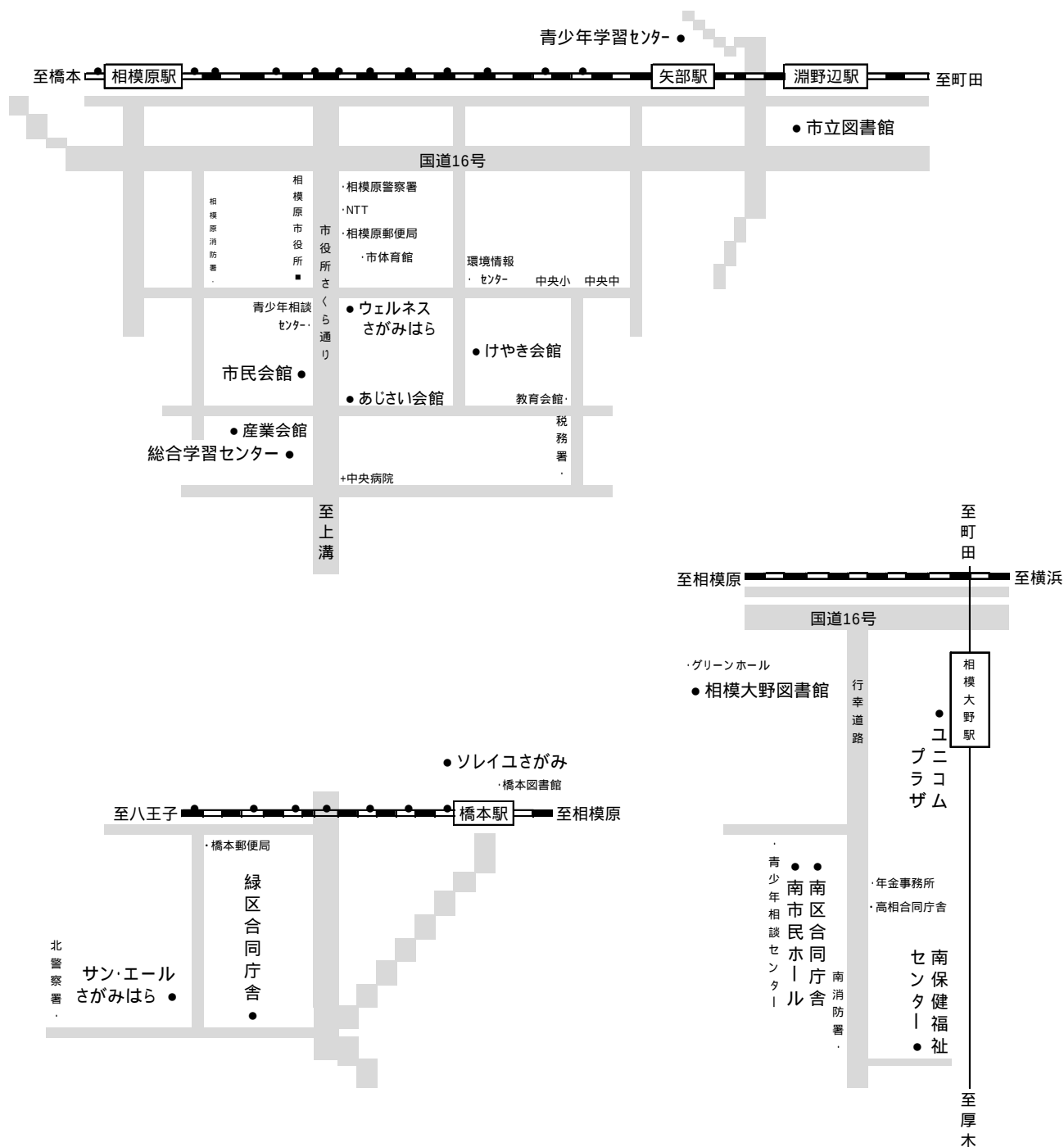
レポートは、研修終了後2週間以内に、保育課まで持参又は郵送にて提出して下さい。



【持参先】 相模原市役所 本庁 4階 保育課 窓口にて研修担当へ

【郵送先】 〒252-5277 相模原市中央区中央2 - 11 - 15 相模原市役所 保育課 研修担当 宛

8 会場案内図



公共交通機関を
ご利用ください







相模原市保育者ステップアップ研修
相模原市 こども・若者未来局 保育課
〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15
042-769-8313
Fax042-759-4395
E-mail : hoiku@city.sagamihara.kanagawa.jp